

11/29 台湾交流で学んだことを報告

アジア圏内＜文化・交流＞体験プログラム派遣事業が11月18日から21日までの日程で行われ、本村から台湾へ派遣された小学生7名と中学生3名が、台湾台南市の小中学校(官田國民中學、嘉南國民小學)を訪問し、現地の生徒と一緒に授業を受けたり、給食を食べるなど様々な交流を行いました。

交流会では、沖縄県や恩納村にまつわるクイズやカチャーシーを紹介するなど、互いを知る良い機会となりました。

帰国報告会では、研修生は交流で学んだことや今後の目標などを村関係者や保護者の前で発表しました。



▼台湾派遣
事業報告



11/21 経営革新認定

恩納村商工会の支援により経営革新計画の承認を受けた、犬の美容室「Windy」(代表:仲本香織)、海レジンアートうみねこ(代表:大西英美)らが役場を訪れ、長浜村長に計画承認の報告を行いました。

経営革新計画は、中小企業者が新商品開発や新サービス提供など「新たな取組」を通じて経営力の向上を目指す計画で、沖縄県が承認すると様々な公的支援策を活用できるようになります。

仲本氏は、獣医師との連携による犬の医療補助・リラクスタッチケアサービスを導入、大西氏は、レジンアート向け木製ベースの内製化・販売による販路開拓へ向けた計画内容がそれぞれ承認されました。



11/5 恩納村に誕生—OIST sea neXus開所、海と未来をつなぐ新拠点

沖縄県科学技術大学院大学(OIST)は、瀬良垣漁港内において、新たな海洋研究・交流拠点「OIST sea neXus(シーネクス)」の開所式を執り行いました。

本施設は、文部科学省の支援を受けて整備されたもので、10室の最新ウェットラボを備え、サンゴや魚類、海洋生体系の研究など、多分野の研究が可能です。地域と研究機関、産学官民の連携を促進し、海洋環境の保全、漁業や養殖の発展、次世代の人材育成など、恩納村の未来につながる取組を推進します。

恩納村は、本施設の活用を通して、持続可能な地域づくりを目指します。

